

(別紙)

## 評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

サーバントホース

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

#### A-1- (1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1- (1) -① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
良い点/工夫されている点： アセスメントや家族との面談、送迎時等で、利用児の家族構成、生活環境を把握し、その上で利用児の行動や発言から本人の思いを推測し、話しやすい関係をつくり利用者主体の支援に取り組んでいる。職員は利用児との関わりの実践から利用児の自己選択、自己決定のできる対応を学び、管理者のアドバイスを受けながら理解し、職員間で共有している。	
改善できる点/改善方法：	

#### A-1- (2) 権利侵害の防止等

	第三者評価結果
A② A-1- (2) -① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
良い点/工夫されている点： 法人全体の研修で特に虐待防止研修には力を入れており、全職員が参加し、周知している。毎月「職員基本行動チェックリスト」で職員が自らの行動を振り返り、管理者から法人代表へ報告する仕組みが出来ている。職員のメンタル面のフォローで虐待防止につなげている。また、玄関口にはセキュリティの備えがあるが、利用者の自由を尊重して柔軟に対応している。	
改善できる点/改善方法：	

### A-2 生活支援

#### A-2- (1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2- (1) -① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
良い点/工夫されている点： 職員の都合での支援になっていないか常に考え対応している。靴、カバンなど整理整頓しやすいように絵で表し自己管理を促している。時間やスケジュールの理解、集団でのルールなど、利用児の特性を職員が理解し、本人が目標を決め、行動でき達成できるように支援している。	
改善できる点/改善方法：	
A④ A-2- (1) -② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a

<p>良い点／工夫されている点： 職員一人ひとりが、利用児の発達段階を理解し、言葉かけの仕方、話す言葉の選択、話の長さなどに考慮してコミュニケーションが図られている。言語表現だけでなく、動作や可視化して伝える手段も職員間で共通認識を持ち支援している。利用児主体で掃除を行い、帰りの会も進行役を子ども達で担うなどコミュニケーション能力を養う機会を作っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p><b>A⑤</b> A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>a</p>
<p>良い点／工夫されている点： 常に利用児とその保護者の様子を気に掛け、利用児の表情を読み取り声掛けして発言を促し、一緒に考える姿勢で対応している。事業所で解決困難な場合は情報提供の同意を得たうえで、関係機関と連携し相談の解決に努めている。管理者不在時でも職員ミーティングを行い、利用児の情報共有を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p><b>A⑥</b> A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>b</p>
<p>良い点／工夫されている点： 主体は利用児であることを常に意識し、馬は療育の環境を整えるひとつのツールとして捉えており、馬にかかわることだけが支援ではないことを保護者にも説明している。利用児がどのような遊びや活動が利用児の成長に有益になっているかを分析し支援をしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 馬に乗る活動に期待して契約する保護者が多いが、馬場に3人の職員が必要であり、送迎や個別対応等が重なる時は乗馬ができない時もあり、保護者のニーズに応えきれない現状にある。馬による療育は法人の一番の特色でもあり、この課題を一事業所で解決するのではなく法人の管理者会議で意見を出し合い、法人としての方向性を検討されたい。</p>	
<p><b>A⑦</b> A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>良い点／工夫されている点： 月2回、事業所単独で職員の自主学習会を行っている。学習会では具体的に利用児の行動や言動の背景を探り、支援方法について意見交換し実践につなげている。ホースセラピーの研究をしている大学の先生から、馬と人、人と人の関係性について学ぶ機会も得ている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## A-2-(2) 日常生活支援

	<p>第三者評価結果</p>
<p><b>A⑧</b> A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常生活支援を行っている。</p>	<p>評価外</p>

<p>良い点／工夫されている点： 食事提供、入浴支援は行っていない。排泄支援、移動移乗支援の必要な利用児はいない。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

### A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
<p><b>A⑨</b> A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点： 乗馬活動には3人の職員を配置し、十分な安全管理で支援している。馬場には長靴に履き替え、馬の管理上、利用児にはおやつを出さない等、馬への安全管理も徹底している。屋内支援室は1室のみであり、雨天で外活動が出来ない時に、パーソナルスペースが必要な利用児には段ボールで囲いをつくるなどの工夫をしている。ボックス棚に足を掛けて登る行為を注意するのではなく、棚に本を並べることで危険な行為を回避している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 戸外活動は馬場やアスレチック遊具があり身体活動には十分な広さが確保されているが、雨天で屋内活動のみに場合、間仕切りのない1室のみでは支援に限界がある。法人の多機能性を活かして必要な空間の確保に期待したい。</p>	

### A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
<p><b>A⑩</b> A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 馬の活動やアスレチック遊具で体の使い方が取得できる環境にある。感覚統合療法も支援のひとつと捉え、同ビル1階のこどもリハビリクリニックの医師や理学療法士からアドバイスを得たり、クリニックでの受診や訓練を勧めることもある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
<p><b>A⑪</b> A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 利用児の体調について保護者と連絡ノートでやりとりしている。入室時の精神状態や健康状態は職員が日頃から観察し、体調の変化に気づく姿勢で接している。急変時は保護者に連絡し、迅速な対応が行われている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	評価外
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	

#### A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>交通安全教室や避難訓練を行っている。年1回の親子遠足、外部主催のレクリエーション参加などの機会を通して社会性が身に付く取組をしている。乗馬や運動活動が中心になっており、学習の時間は位置づけていないが、長期休暇時に隣室を使い学習支援が行われ、学生のサポートが得られる時もある。</p>	
改善できる点／改善方法：	

#### A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用児や保護者の意向を聞き、学校、医療機関、行政、相談支援専門員等と連携しながら将来に向けての地域移行への支援に努めている。法人の持つ多機能性を活かし、サポート校への選択肢にも協力している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

#### A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>親子遠足、スキー教室、ミナモ体操などの参加で保護者との交流を大切にし、家族と連絡が取りやすい関係に努めている。利用児の変化を察し保護者と迅速な連携で対応したり、家庭内の問題の相談も相談支援員や関係機関につなげている。法人でペアレントトレーニングを実施しており、参加を呼び掛けている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

**A-3 発達支援****A-3-(1) 発達支援**

	第三者評価結果
A⑩ A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：          子どもの特性を理解し、個々に合った適切な声掛けや提示方法を実施している。子どもを理解するS-M検査（社会生活能力検査）を活用し、保護者と共通理解で支援につなげている。不登校の子にも柔軟に対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

**A-4 就労支援****A-4-(1) 就労支援**

	第三者評価結果
A⑪ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	非該当
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A⑫ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	非該当
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A⑬ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	非該当
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

**A-5 県独自項目****A-5-(1) 職員の援助技術の向上**

	第三者評価結果
A⑭ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	b

<p>良い点／工夫されている点： 外部研修、内部研修を行い、職員の援助技術の向上に努めている。事業所内独自でも月 2 回、職員同士で勉強会を行い、管理者からの指導を得ている。</p>
<p>改善できる点／改善方法： 法人組織として、職員のレベルに合わせた人材育成の取組に期待したい。今後、組織の拡大に伴い各事業所を担う管理者としてのマネジメント研修が必要と思われる。</p>

**A-5-(2) IT技術や知識の修得**

	第三者評価結果
<p><b>A②</b> A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。</p>	評価外
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	